

●発達障害セミナー

「自分を大切に思う気持ち
持たせる支援を」

1月23日(土)、国際医療福祉大学の大讲堂において「発達障害セミナー」が開催されました。

このセミナーは、市教育委員会、市幼保小連絡協議会、国際医療福祉大学が主催し、発達障害を早期に支援することで、その障害のある人たちが楽しく生き生きと生活できる社会を目指すことを目的として開催されたものです。

市内の子を持つ親たちをはじめ市外からも多数の参加があり、600人収容できる会場はほぼ満席の状態。その関心の高さがうかがわれました。

講師には、埼玉県入間市で発達障害の支援活動を行っている「NPO法人えじそんくらぶ」代表の



講師の高山恵子さん



600人近く集まった参加者

高山恵子さんが招かれました。高山さんは臨床心理士、薬剤師でもあり、文部科学省の小・中学校における特別支援教育に関する作業部会委員なども歴任。発達障害のある人のカウンセリング、指導者の養成などに力を注いでいます。

「発達障害の理解と支援」家庭・園・学校でできること」と題した講演。その中で、誤解からトラブルになりやすい発達障害の具体的な症例を示しながら、「記憶することが極端に弱く、すぐ忘れる」障害があることなどへの理解を求めました。また、医学的な見地も踏まえ、そうした障害のある「子ども」の視点に立つことが最大のポイント」で、「両親、教師、クラスメート、パートナー」など、「この人がほめるとすごく効くキーパーソン」を探し、「何かができなくても自分は好き」と「自分を大切にしようと思う気持ち」を持たせることが支援になることを示してくれました。

■問い合わせ

TEL (98) 71113
学校教育課学校教育係

●第12回60与一のつどい

楽しみながら
社会とつながるすべてを学ぶ

2月13日(土)、大田原市総合文化会館ホールで「第12回60与一のつどい」が開催されました。今回は、「楽しみながら社会とつながる」これから輝くあなたの人生」をテーマとして、事例発表や講演がありました。

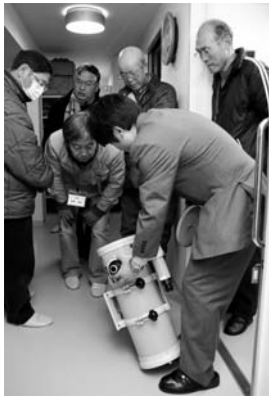
第1部は、地元で活躍する方からの事例発表。両郷の語り部おじさんこと益子泰雄さんからは、那須与一や地域の歴史について地元小学生たちに語り伝える活動をしていること、大田原ふるさと民

●天文ボランティア養成講座

「天文に大いに興味あり」
9名が学ぶ

2月13日(土)、平成21年度の「天文ボランティア養成講座」が開講しました。

この講座は、平成20年4月に開設した「ふれあいの丘天文館」の



天文館職員から望遠鏡の説明を受ける受講者



手遊び歌を披露する片山恵美子さん

話の会の片山恵美子さんからは、同会や朗読ボランティア「まつぼっくり」での活動の様子が紹介されました。第2部は、国際医療福祉大学専門講師大石剛史氏による講演。退職後は地域社会とのつながりを築くことが重要であり、特に団塊の世代はコミュニケーションを再生していく重要な立場にあることを訴えていました。

■問い合わせ

TEL (98) 71115
生涯学習課生涯学習係

運営の手伝いをしてくれるボランティアを養成するというもの。講義を通じて天体観測に必要な知識を身につけ、実際に望遠鏡を操作しその技術などを習得してもらったため、3月20日まで6回にわたって開催されます。

今回の受講者は9名。年齢、天文に関する知識の程度はさまざまですが、興味関心の高い人たちがかり。天文ボランティアの役割や天文館の概要について説明を受けた後、天文館を見学。充実した各種望遠鏡などの機器に触れ、今後の展開に胸を膨らませていました。

■問い合わせ

TEL (28) 3254
ふれあいの丘天文館